

ちがさき



丸ごととふるさと発見 博物館

香川・下寺尾の周辺

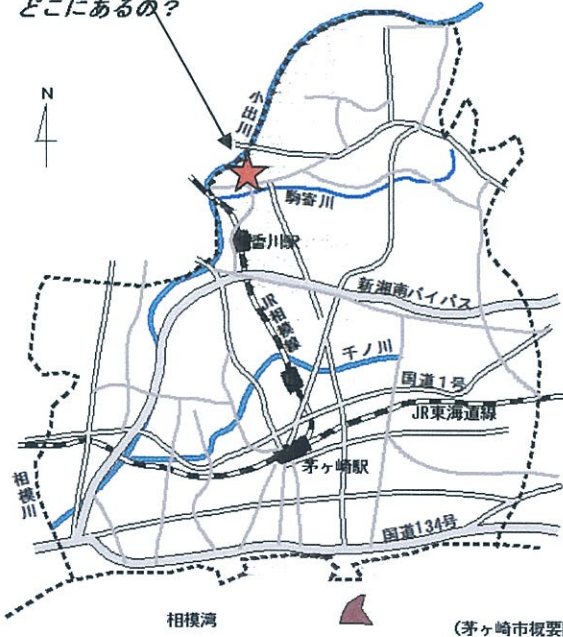
文化の中心地だったのかな？

約 1,300 年前 (奈良時代)

相模国高座郡の役所と寺院跡
さがみのくにたかくらぐん

しだれ桜、地元野菜、地ビール
新しいまち 'みずき'

どこにあるの？



(茅ヶ崎市概要図)

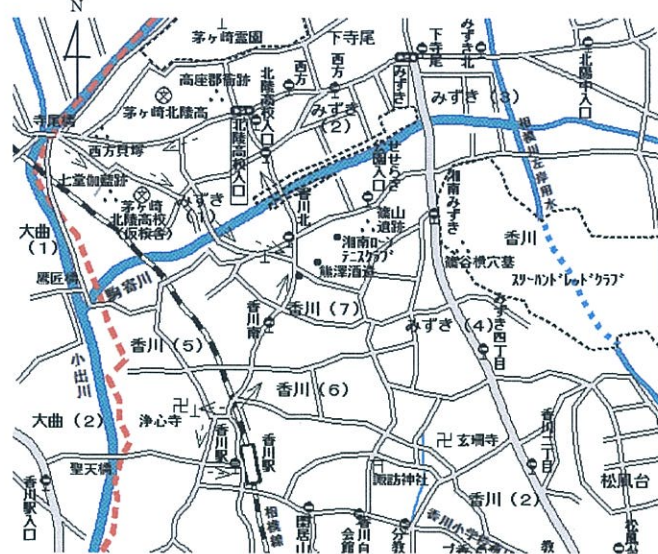
茅ヶ崎市教育委員会社会教育課

ぶらり散歩

香川駅から北に向かい右に大きく曲がる先の右手に大きなしだれ桜があり、3月末頃に見事な花を咲かせて道行く人を楽しませてくれます。

角地にある地元の野菜直売所(無人)では新鮮な野菜を買うことができます。また東に向かうと喉を潤すおいしい地ビールの店があります。

駒寄川に沿って新たなまち 'みずき' が誕生し、川の両側に緑道と公園ができました。(平成 17 年)



(香川駅からの道)

香川駅から文化の中心地へ

徒歩：香川駅→踏切→北陵橋→高校グラウンド
歩程：約 1 km、約 20 分
(コミバス北陵高校入口まで 3 分)

→グラウンド→西方貝塚→七堂伽藍跡
→三橋勘重郎の墓、供養碑→香川駅
(全歩程：約 3 km 約 1 時間)

“ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”

茅ヶ崎全域を博物館と見立てて、地域の宝を活用して

- ①生涯を通じて学習したことを地域に活かせる
- ②文化が身近に感じられる
- ③ふるさとを愛する気持ちを持つ仲間が増やせる

“地域 (=まち) づくり！” を目指しています。

(No.2 作成：2011.8.28、改訂 A：2013.5.14 s.t.)

‘ふるさと発見’ スポット紹介



☆役所 (高座郡衙) 跡

たかくらぐんが



グラウンドを囲む桜

約 1,300 年前 (奈良時代) の高座郡の役所跡が茅ヶ崎北陵高校の建替計画の調査でグラウンドからみつけられました。郡庁舎建物と正倉といわれる倉 4 棟の建物の柱穴が整然と並んでいました。

☆寺院 (下寺尾七堂伽藍) 跡

しもてらお しちどう がらん

海老名国分寺よりも先に建っていました。
(現在は畑)
役所と寺院が近くで共存した貴重な史跡です。



高校の仮校舎

(伽藍域：約 80m×80m)
(JR 相模線側から撮影)

☆弥生時代の環濠跡

やよい じだい かんこうあと



約 2,000 年前の弥生時代の集落の周囲に巡らした堀 (環濠) が茅ヶ崎北陵高校を含む台地の上と縁辺部で見つかっています。関東における大きな環濠集落の一つです



深い堀

☆西方貝塚

にししかた かいづか

約 5,500 年前 (縄文時代前期) は台地 (高座丘陵) 下まで海だったと考えられ、干潟で採って食べたヤマトシジミの貝殻と竈穴住居のあとがみつかっています。



(坂の途中)

☆勘重郎堀と三橋勘重郎の墓、供養碑

かんじゅうろうほり

くようひ



堀跡
(玄瑠寺の脇にあります。)

香川の名主三橋勘重郎が約 230 年前 (安永年間) に下寺尾の大岡橋の辺りから香川まで用水を引いて香川地区の農地を整備したり、飢饉のときには年貢をまけるよう領主に直訴したなどと伝えられています。

H-2 “香川・下寺尾周辺” を調べる

自分で探したものを絵や写真で追加しましょう!

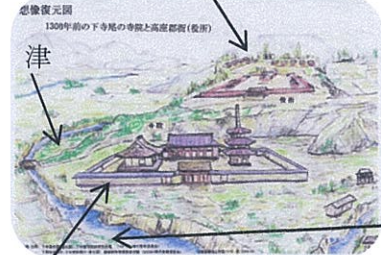


こごさきゅうりょう
台地=高座丘陵
(約14万年前に陸地化)
にしかたかいづか
家の前の低い畑地が西方貝塚
(約5,500年前)

しちどうがらん ひ
七堂伽藍の碑



南側畑地に建立された
寺院の礎石
台地上に
役所(郡衙)
(約1,300年前)



寺院(七堂伽藍) (イメージ図)
(約1,300~1,000年前) (作成A.K.)



(出土した鬼瓦と軒丸瓦)

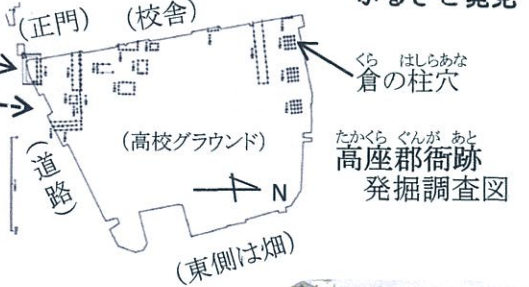
三橋勘重郎の墓
(墓地)



熊沢山浄心寺
山門の左手に勘重郎供養塔



校舎側で役所建物の
柱穴が見つかる



北陵橋の上流側と
新しい家並み



駒寄川



地元の食を
楽しむ

茅ヶ崎の地ビールの店



地元の新鮮野菜直売所



春を告げるしだれ桜



散策路(暗渠)



面影が残る勘重郎堀

☆相模川左岸用水:昭和15年に相模原市磯部(下溝駅)の堰から引いた農業用水

(No.2作成:2011.7.23,改訂A:2013.5.14 s.t.)
“ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”